

「聞け、イスラエルよ。主は私たちの神。主は唯一である。」

申命記 6章4節

申命記は、イスラエルの民が約束の地に入る前に、神の命令・律法をもう一度確認された書です。神の民になる・・・言い換えればクリスチャンになることは、何と堅苦しく、束縛される生き方だろうと思うかもしれません。しかし、神の律法を守ることは「幸せになるためだ」と記されていることに心を留めてください。そして、その秘訣は、まず「聞くこと」から始まります。自然に聞こえてくるのではなく、意識して聴くことです。聴くためには心を話し手に向ける姿勢が大切なのです。

第二に、主がどのようなお方を教えていただくことです。聖書が示す、唯一の神を知りなさいということです。イスラエルの民はエジプトの地でも偶像を礼拝し、多くの神々に仕えていました。ですから、主だけが唯一の神であり、それ以外のものを神として拝んだり仕えてはならないと命じられているのです。神と私たちの関係は、神に自分の願いを言うだけではなく、その神に私たちが聞き従う関係なのです。

第三は、幸せ、繁栄は神から与えられたものであるということをお忘れなさいことです。

私たちは、神の愛によって今の自分があることを覚え、神が私のためにしてくださった一つ一つのことを受け止め、神を愛する者として日々、感謝をもって歩みたいものです。

イスラエルの民は神の子として「あなたを愛しなさい」と教えられています。私たちの信仰も、神への愛の応答が具体的に表わされるのが大切です。主を愛し、隣人を愛する信仰の歩みは、他者へと伝えられていくことです。そのためにはまず、自分自身が日々、神のことばをしっかりと心に刻み、偶像に取り囲われている環境の中で唯一の神を信じる信仰の旗印を鮮明にする生き方をすることです。

## 【報告 消息】

・元旦礼拝 報告

新型コロナウイルス感染拡大防止のため礼拝堂に集まることはせず、教職者とその家族で行い、インターネットでの礼拝映像を配信しました。リアルタイムで20件ほどの視聴回数があり、その後140件ほどの視聴回数となっています。

今年も横濱、取手も蒲田礼拝を視聴しました。

説教では新年の教団標語が扱われています。元旦礼拝プログラムの巻頭言もご覧ください。

インターネットを利用できない方のためにはCDを配布致します。ご希望の方は荻野牧師、林修養生までお知らせください。

## 【教団情報】

今月は教団として次のことが予定されています。お祈りください。

□ 11日(月・祝) 新年聖会

霊修会実行委員会

新年聖会は主会場の蒲田教会に講師をお迎えし、各シオン教会をインターネットで繋いで中継します。ご家庭でも視聴できるので、ご活用ください(コロナ禍の状況ではネット配信のみになる場合があります)。

新年聖会後には霊修会実行委員会をインターネット会議で行います。コロナ禍にあつての対応を検討します。

□ 24日(日) 臨時教団総会

理事会

臨時総会では新年度に向けた教職者人事の発表があります。本来は一カ所に集まるのですが、コロナ禍を受けて、各教会ごとに集まってインターネットで繋がります。

総会後には定例の理事会を行います。

教団の働きのため、格別に理事長を務める石田牧師、そして理事および携わる兄弟のために祈りください。